

第 25 卷を迎えた Trans. ISIJ

—記事分類・投稿規程改定のお知らせ—

大 森 康 男*・松 尾 宗 次*²

日本鉄鋼協会創立 70 周年にあたる本年は、欧文会誌 Trans. ISIJ にとつても通巻 25 巻をかぞえる記念すべき年であります。1961 年に Tetsu-to-Hagané Overseas として季刊誌で創刊され、1966 年に Trans. ISIJ と改称とともに隔月刊に、さらに 1975 年から月刊となり、現在に至っています。この約 1/4 世紀の歴史を経て、今日では内容、発行部数ともに国内刊行の有数の欧文学術誌としての評価が定着してまいりました。これは歴代の編集委員および協会事務局など関係各位の御尽力と会員皆様の御協力によるもので、御同慶の至りであります。

当初「鉄と鋼」の英訳版として発足し、本格的論文誌を意図した Transactions への移行後も、「鉄と鋼」および関連国内誌からの転載が大半を占めた、いわば蛹からの脱皮のための時期が続きました。しかし最近数年、とくに中村正久前協会副会長（当時欧文会誌分科会主査）が、本誌（第 65 年 12 号）上で Trans. ISIJ へ原著論文寄稿の呼びかけをされて以来、オリジナル投稿が急速に増加し、海外からの投稿も増えてまいりました。昨年の欧文会誌掲載論文・報告の約 70% はオリジナルのものであります。なおこうした状況をふまえて本誌読者の便をはかるため、すでにお気づきのように各号巻末に最近号の Trans. ISIJ 掲載論文・報告の抄録が載せられています。

このように Trans. ISIJ が「鉄と鋼」の姉妹誌としての地歩を固めるに至った現在はまだ、欧文誌として協会活動の中で果たす独自の役割をよりいつそう明確にすべき時でもあります。この時機に欧文会誌分科会では論文誌としてのさらに充実をはかるとともに、鉄鋼および関連技術の海外への紹介、鉄鋼業の質的变化に対応した記事内容の編成などに力をいれ、投稿者と会員読者にとつて共に魅力的で特徴ある会誌への展開を進めつつあります。その一環としてこのたび、New Technology などの新企画を含めた記事分類の整備とそれにもとづく投稿規程の改定を行いました。なお新投稿規程は本文末尾に掲載されています。そこで欧文会誌の新しい記事分類の紹介と改定投稿規程の要点について若干の説明を加え

させていただきますと思います。

Trans. ISIJ に採用する記事は (1) Research Article, (2) Technical Report, (3) Review, (4) Special Lecture, (5) Research Note, (6) Letter to Editor, (7) ISIJ Activity Report, (8) New Technology に分類されます。このうち現在自由投稿を受け付けている項目は (1), (2), (5), (6) です。(1) Research Article は著者の独創になる学術および技術の成果を記述し、十分な考察がなされた論文をいいます。(2) Technical Report は製造技術・設備技術・管理技術・製品利用技術および工場建設等における新しい開発・進歩に関する報告あるいは一般性をもつた新しい試験結果または実験結果が記述された資料的価値のある報告であつて、その実現過程で克服した問題点の解析をできるだけ含めることが期待されています。申すまでもありませんが上記 (1) と (2) の分類は質の高低とは関係なく、その性格にもとづくものです。(5) Research Note は速報性を目的とした短い論文または、たとえば新しい研究手法開発の報告であり、とくに編集上迅速な処置のための配慮がなされます。プライオリティー確保のためにも、積極的な投稿を歓迎します。(6) Letter to Editor は Trans. ISIJ や「鉄と鋼」の既発表論文に対する意見・例証・反証の提示あるいは協会活動分野における学術・技術全般にわたる基本的事項についての提案または討論のための欄であります。会員間の情報交換、着想や試みの交流の場として活用され、誌面の活性化がはかれることを望んでいます。なお今後 Trans. ISIJ への御投稿の際には、同誌に添付されている Application Form 上に必要事項とともに、上記記事分類の該当項目を指定していただくことになっております。

その他の記事分類については、現在は編集委員会でご企画し、執筆依頼などの処置をとつております。(3) Review は鉄鋼関連分野について内外の現状・動向の総合的解説あるいは広い視野に立つた多くの既発表資料の集録・紹介です。これまで西山記念技術講座などからの一部転載も行ってきましたが、さらに時宜に適った企画を

* 本会編集委員会欧文会誌分科会主査 東北大学選鉱製錬研究所教授 工博

*² 本会編集委員会欧文会誌分科会幹事 新日本製鉄(株)第一技術研究所 工博

進めることにしています。(4) Special Lecture は協会主催または共催の特別講演の中、外国に紹介すべきものを取り上げます。(7) ISIJ Activity Report は協会に設置された各種の研究会の成果と活動報告および講演大会討論会、二国間セミナー、協会主催の国際会議などの内容紹介欄であります。(8) New Technology は外国会員の技術的関心をひく完成された国産技術(鉄鋼製造法と関連周辺技術・研究装置手法等)、従つて商品化可能な技術を紹介し、その原理・特徴・応用について技術的価値を判断できるデータを盛りこんだ小資料です。論文誌としての格調を損なうことのないように単なる宣伝のための広告的内容ではない技術情報の提供により、技術交流の促進の一助となることを目指したものであります。本欄記事の収集は、発足当初の措置として編集委員会による勧誘にもとづいてなされていますが、逐次依頼

先の拡大と自由投稿への移行を進める予定です。

この他 Trans. ISIJ にはすでに 1980 年から春秋講演大会の英文講演概要集が巻末に収められていて、技術速報として海外で高い評価を得ております。このアブストラクトをもとにして、とくに海外に発表して反響が期待される成果は、Research Article, Technical Report あるいは Research Note にまとめて Trans. ISIJ へ御投稿をお勧めします。申すまでもなく従来どおり「鉄と鋼」との併載は可能であります。

以上欧文会誌に関する最近の動向を報告してまいりましたが、「鉄と鋼」ともども協会会誌の両輪として Trans. ISIJ が有効に機能するように編集関係においては努力を積み重ねる所存でありますので、会員の皆様のご御理解と御支援をお願い申し上げます。終わりに今後の協会の発展のため、Trans. ISIJ を外国の知人に御紹介いただき、海外の協会会員の増員へ御協力下さるよう切望いたします。そのための資料などは協会事務局に準備してありますので、御照会下さると幸甚です。

APPLICATION FOR PUBLICATION IN TRANS. ISIJ				
(Fill in the blanks, sign (by the representative author), and send in together with your manuscript.)				
(This column is for editor's use.) Reception No. 受付番号		Publication No. 掲載番号		
Received on 受付:	年 月 日	Estimated pages (推定 頁)	Published in 掲載: Vol. No.	
Title				
Author(s), Affiliation(s) and Address(es) (日本語で記入)				
Number of Sheets	Text (incl. Synopsis) _____pages	Tables _____	Figures _____	Photographs _____set(s)
This paper is intended to be: (Encircle one)	1. Research Article 2. Research Note 3. Technical Report 4. Letter to Editor (This space is for editor's use.)			
Prior Publication (Encircle one)	1. None 2. Oral } when applying by Article 3-(i) of INSTRUCTIONS, give 3. Printed } details (日本語で記入可) Language used: Organization, Event, Journal: Date of Publication:			
Name and mailing address of the author in charge of future correspond- ence (日本語で記入)				

Signature: _____

欧文会誌投稿申込書見本

(Trans. ISIJ へ投稿の際は、欧文誌各号添付の本 Application Form に必要事項をご記入のうえ、原稿とともに、お送り下さい。)